

北大阪 商工組合 ニュース

2017年11月/第325号

URL <http://www.kita-osaka.co.jp/~kumiai>
E-mail kitashoko@leaf.ocn.ne.jp

地域間交流・『ささえあいコミュニティ生協新潟』 老人や弱者の サポート事業を展開



新潟で「ささえあいコミュニティ生協」を設立・運営され、また日本高齢者生活協同組合連合会の会長でもある高見優さん。以前、関西で講演されたお話を触発され、その活動を是非拝見したいと、11月1日、商工組合理事長・大里と専務理事・一村が新潟を訪ねました。高見さんと専務理事の武田貞彦さんお二人のお話は、私たちを元気づけるものでした。

理念と労働現場を関連付ける

不断の意識的な活動の必要性

お二人はずっと社会運動、市民運動、反公害や地域の政治などに取り組んでこられる中、高齢協(日本高齢者生活協同組合連合会)運動に触発され、自主事業の宅老所を開始。新潟の仲間たちとともに2006年「ささえあい生協」を設立。出資金は一人五千元で組合員は今や1400人という規模になっている。

しかし介護保険制度による最初の福祉事業(小規模多機能型居宅介護事業)は、事業経営の経験がなく、資金面や人事で壁にぶつかり相当たいへんだったようで、なんとかが経営を軌道に乗せてきた。現



▲右から武田さん・高見さん

その進展の理由を尋ねると、初めの3年程は高見さんが陣頭指揮に立って、その後本部が事業をするのでなく、やりたい人を応援して黒字化している。スタッフが自主的にやりたいという仲間を連れて来て、新規事業所をつくる。もちろん生協所属である。法人としては一体でも、各事業所により昇給や賞与が異なる。といった説明に、軒余曲折をしながら議論を積み重ね、今

の組織運営が作られていたのは理解できた。やはり個別の問題がいろいろ発生したが、本部としてのリーダーシップで乗り越えてきたようだ。現在高齢協の会長でもある高見さんは、運営会では二番目の事業高で、異端でもあつてと苦笑されていた。

午後には近くの事業所を見学し、施設長から説明を受けた。新潟県は小規模多機能への助成金が多額(建築費はほぼ全額相当)というのびびくり。でもそれに甘えず、計画と同時に地域の人びとに丁寧な説明をし、その人たちがら出資も一千万円を超えたという。しかも言葉通りの地域密着で、利用者さんは徒歩15分以内、10人以上、定員29名(うち泊り6名)で、送迎の効率のよいこと。ご近所

のボランティアさんたちが毎月イベントを主催する。職員はお休みをしっかりと取りながら、しかも賞与も結構な額。好循環の見本のように、「私も作りたい」という思いの素支を感じられた。最後に就労支援事業所も案内してもらい新潟を後にした。

全般的な感想としてはやはり、「協同労働の協同組合」という理念と労働現場を関連付ける不断の意識的な活動の必要性は、私たちと共通しているということ。そして組織も人も生き物で進化していて、その中から世代交代や引継ぎの諸問題も必ず結果へ落かれていくということ。

お忙しい中お付き合いいただき、高見さん武田さん。ありがとうございました。(一村洋子)

071 商工組合主催 秋の運動会

汗をかいて、家族も一緒に楽しい1日



▲準備体操「僕も一緒に!」

当日は天気にも恵まれ、150人以上が参加しました。今年は、年代に関係なく来てくれた全員が参加できるようにと、実行委員会が知恵を出し合い全員参加の競技を

どもから大大まで一生懸命に綱を引き合い楽しめました。その後も新競技、ポトルボーリングやドッジボールなどで子どもたちも楽しく走り回り、見ているほうも盛り上

増やし、またこれまでた4チーム対抗から赤青の2チーム編成と、シンブルにしてみました。

朝一番の競技は、全員が参加できる恒例の綱引き。子どもから大大まで一生懸命に綱を引き合い楽しめました。その後も新競技、ポトルボーリングやドッジボールなどで子どもたちも楽しく走り回り、見ているほうも盛り上

がっていました。最後の真剣リレーでは、それまでの劣勢を覆し、青チームが大逆転。仕事にはない汗をかいて、家族も一緒に楽しい一日だったと思います。年々参加者が減ってきていますが、年に一度の集い。仕事では見られない笑顔を見るのは、とても嬉しいことです。

また今年も、プライベートな時間の確保も考え、競技は午前中のみにしました。競技の後、全員で片付けをし、そして皆と一緒に弁当を食べ、お昼過ぎには閉会。賛否さまざまな意見が寄せられていますが、ともかく中心となり動いてくれた実行委員会のメンバーやいろいろな役割を受けて

くれた皆さんに感謝します。『今後の運動会の開催にあたっては、開催時期や運営方法、世代間の問題など考えなければいけないことが多々あります。しかし組合としては、日頃別々に働いている職員や関係者が年に一度仕事から離れ、一堂に集まる行事を続けていくことは大切だと思っております。』実行委員の反省会では、より多くの職員が参加できるように開催時期をずらしてみようとの意見も出ていました。参考にしたいと思っております。参加してくださいました皆さん、景品を快く提供いただいた関係各社・団体の皆さん、ご協力ありがとうございました。(大里哲久)

原発に頼らない社会を!
誰もが笑顔で暮らせる世の中に!!
生活協同組合
兵庫いきいきコープ
〒651-1411 兵庫県西宮市山口町名来 2-5-11
☎ 078-903-6522 〆 078-903-6533

安心・安全を
お届けします
奈良産地直送センター
奈良市佐保台西町62
☎ (0742) 70-4800

平城山
デイハウス
よつば
奈良市佐保台西町62 1階
☎ (0742) 70-4855

調替わりの
ミニカーニ
やっています

ふるさと広場
高の原店
京都府相楽郡大津町野宮9-9-6
☎ (0774) 73-0551

おいしい食事と
本太大的笑顔の
第二の我が家

人と人との
つながりが
大きな力に!!
關西よつ葉連絡会
淀川産地直送センター
摂津市鳥飼新町2-15-16
☎ 072-650-3211 〆 072-650-3212